

元常務理事 間瀬延幸氏の急逝を悼む

(社)日本都市計画学会会長 平野侃三

本会の元常務理事間瀬延幸氏には平成3年11月11日永眠されました。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

社団法人 日本都市計画学会

去る11月11日間瀬延幸氏が急逝されました。10月22日の本学会の理事会を欠席するという電話連絡の後、入院されて翌日には手術をされ、その時既に手遅れであったということです。直前まで元気に仕事をしておられたことを考えると嘘のような気がしてなりません。入院1か月前の理事会において、同氏が担当常務理事として調整に努力された関西支部が予定通り10月3日に設立総会を開催することを報告し、さらに、今後の学会の体制強化のために定款改正や各種規程の整備が必要であることを主張されていたのを、その姿と共に思い出します。

同氏は昭和56年度から本学会の理事を務め、昭和61年度からは常務理事として、さらに平成2年度に総務企画委員会が設置されるとその担当常務理事として本学会の運営に当たってこられました。この間、同氏は常に学会の将来を見据えて幅広い見識に基づいた的確な提言を行い、また、学会の行う事業に対しても直接的な支援体制を敷く等学会運営に大きな功績を残されました。

本学会は、今日の社会情勢の変化に対応して活動の活性化と内部の組織体制の強化を図らなければならない重要な時期に来ております。この課題に主体的に取り組む組織として総務企画委員会を設置した訳ですが、その委員長として同氏が最適任であることは從来の実績から万人の認めるところであり、その活躍に大きな期待がかけられておりました。それから僅か一年足らず、支部設置に関わる色々な仕組みのルール化等を行い本格的に組織体制の見直しに入ろうとする矢先のことでした。まだ55才の若さであり、あの元気いっぱいの間瀬さんが・・・と言うのが計報に接した誰でももの気持ちでした。残念だったと思います。我々も残念です。そして学会にとってもまた同氏が関与した全ての分野においても計りしれない大きな損失です。

間瀬君、君は私にとって大学の同じ研究室を出た最も信頼のおける仲間でした。君が愛知県に入って以来今まで長い間つき合ってもらって本当に有り難う。こんなに私心のない、誠実な、それだけに多くの人に愛され慕われた君の親しい友であったことを一生の誇りとします。さようなら、心からご冥福をお祈り致します。



略歴

生年月日	昭和11年1月25日生
本籍地	愛知県
昭和33年3月	東京大学農学部農学科卒業
33年4月	愛知県土木部計画課
41年6月	建設省都市局公園緑地課
42年4月	建設省都市局都市計画課
43年5月	茨城県土木部計画第2課
47年10月	工業再配置公団工業再配置第一部事業課長
50年4月	建設省都市局都市計画課建設専門官
51年7月	徳島県土木部計画課長
53年8月	建設省都市局公園緑地課都市緑地対策室長
54年11月	宅地開発公団参事
56年10月	住宅・都市整備公団公園緑地部長
59年6月	神奈川県都市部参事兼都市計画課長
62年10月	住宅・都市整備公団理事